

平成 27 年 12 月 22 日
西日本高速道路株式会社

報道関係各位

“なるほど! 高速道路発見” 現場見学会受付サイト開設から 1 周年

ご参加いただいたお客さまの声を紹介します。

平成 27 年 1 月から新名神高速道路をはじめとした建設工事現場が最盛期を向えてきたことから、普段は目にするのできない高速道路の現場を多くの皆さんに見学していただきたく、現場見学会受付サイト開設から 1 年が経過し、ご参加いただいたお客さまから沢山の声をいただきましたので、ご紹介します。

1. “なるほど! 高速道路発見” 概要

実施回数	33 回 (47 回のうち 14 回雨天中止など)
応募者数	2,583 名
参加者数	490 名

2. お客さまの声 (一例)

《高速道路建設工事現場》

○学校では教えてもらうことのできない、現場でしか体感することのできない体験ができた。また、道路が完成するまでにたくさんの人の手や地道な努力があるのだということを知りありがたみを感じた。

○橋の上に登りたかったが、登れず残念でした。次はお願いします。

○目からうろこが落ちる感じで知らないことばかりで勉強になりました。
土木ってこんなにおもしろいのかとあらためて思いました。

○人間の物を造る力を再確認した。

○工法が複数ありそれぞれの状況で吟味して工事されていること、日本の技術はすごいと思った。川の流れを変えたのに
おどろいたが理由がとても納得してすばらしいと思った。

○普段は見ることのない現場を間近に見れて、日本の技術力の高さにビックリしました。完成後にマイカーで主人や孫たち
と旅行するのを楽しみにしています。

○大規模な工事を拝見させていただき大変感動いたしました。いつも利用しているときは工事の大変なことが分からず利用していましたがありがたさを思い知りました。

○とにかく凄い。貴重な体験ができました。皆さん現場で真面目にやっておられるのを見て感激しました。音対策や振動防止など、地域に対する配慮が行き届いているので感心しました。

○こんなに間近で見たのは初めてです。現場で働く人達の仕事をみられてとてもいい経験をさせていただきました。男の仕事でかっこいいナ～と思いました。



＜新名神高速道路 武庫川橋工事＞



＜新名神高速道路 箕面トンネル東工事＞

《高速道路の維持管理現場》

- 普段知らない車の働きや仕組みが分かり、とても興味深かったし、実際に車にのせていただき子供も楽しく見学させてもらいました
- たくさんの人のおかげで高速道路を走れる事がわかりました。
- 旗振りの意味が分かり、勉強になった。
- 関門橋の主塔上部に塔頂する経験ができてうれしかった。
- 家族ででかける時は車が多いので、雪道などの整備は勉強になりました。



《高速道路の維持管理車両》



《高速道路の維持管理車両》



《関門橋 主塔上部塔頂》

弊社は、高速道路建設工事などの現場を多くの皆さまに見学して頂くことで、安全・安心の取り組みについての事業理解をいただけるよう、引き続き現場公開を行ってまいります。